

消防 年報

平成30年度版



【化学消防ポンプ自動車Ⅰ型（平成31年2月配備）】



宮津与謝消防組合消防本部

は し が き

この消防年報は、宮津与謝消防組合（宮津市・伊根町・与謝野町）の消防現勢及び平成30年度中における消防業務に関する諸般の実態の資料を収録し、災害に強い安全な市町の実現を目標とする当消防組合行政の推進に役立たせると共に、広く一般に紹介することにより、住民の皆様が消防に一層のご理解を深めていただく一助になれば幸いと編集したものです。

なお、災害件数は平成30年中（暦年）、その他は平成30年度（平成31年3月31日現在）で取りまとめました。

令和元年8月

宮津与謝消防組合消防本部

◇一目統計

	構成市町	人口	世帯数	管内面積
組合概要	1 市 2 町 宮 津 市 伊 根 町 与謝野町	41,577人	18,504世帯	343.07km ²

	組合予算	署所	職員数	
予算 機構	平成30年度当初予算 8億9,750万8千円	消防本部 1 消 防 署 1 分 署 3	職員 94人 (内女性 3 人)	定数 97人

	ポンプ車等	特殊車両	救急車	その他の車両
消防 車両	ポンプ車 3 台 水槽付ポンプ車 1 台 化 学 車 1 台	救助工作車 1 台	高規格救急車 4 台 非常用救急車 1 台	指揮車 1 台 資機材搬送車 1 台 指令車 4 台 その他 4 台

	火災	救急	救助	その他
火災 救急 救助 その他	17件 概ね21日に1件の割合で発生	2,232件 概ね1日に6件の割合で発生	22件 概ね17日に1件の割合で発生	288件 概ね1日に1件の割合で発生

	防火対象物	危険物施設	防火指導	立入検査
予防	特定用途 502施設 非特定用途 1,193施設	貯蔵所 138施設 取扱所 93施設	回 数 78回 対象人員 4,436人	防火対象物 393件 危険物施設 126件

◇目 次

消防組合の概要	1
消防の沿革	2
消防組合役職者名簿	1 2
消防組合機構図	1 2
消防庁舎の概要	1 3

◆総 務 編

消防本部の分掌事務	1 4
消防署の分掌事務	1 6
分署の分掌事務	1 7
消防職員の所属・階級別配置	1 8
消防職員の勤続年数	1 9
消防職員の年齢構成	1 9
消防職員の職員教育研修	2 0
平成 30 年度当初予算	2 1
平成 30 年度構成市町分担金	2 1
平成 30 年度消防予算の性質別内訳	2 1

◆予 防 編

防火対象物の現況及び査察実施状況	2 2
消防用設備等設置状況	2 3
建築確認同意・消防通知・計画通知件数	2 4
各種届出状況	2 4
月別防火指導及び広報活動状況	2 5
住宅用火災警報器設置状況	2 5
危険物施設の現況及び査察実施状況	2 6
倍数別危険物施設の数	2 6
危険物施設等各種申請・届出状況	2 7

◆警 防 編

消防通信指令系統図	2 8
消防車両の現況	2 9
機械器具等の保有状況	3 0

◆統 計 編

119番通報受信状況	3 1
気象状況	3 1
災害件数の推移	3 2
救急講習受講状況	3 3
管内AED設置状況	3 3

◇消防組合の概要

1 位置及び地勢

宮津与謝消防組合は、京都府北部の日本海若狭湾に面する宮津市、伊根町及び与謝野町で構成しています。

南に大江山連峰、西には丹後半島の尾根が連なり、中央に日本三景の一つ特別名勝「天橋立」を配した南北に長いL字型で、美しい海岸線や大江山連峰、世屋高原など貴重な自然資源が「丹後天橋立大江山国定公園」に指定されています。

また、平成28年10月に京丹後大宮 I Cまで延伸した山陰近畿自動車道や京都縦貫自動車道は、京都府北部と京阪神を結ぶ重要な道路網としての役割を担っており、四季を通じ「宮津の天橋立」、「伊根の舟屋」、「与謝野のちりめん街道」などに多くの観光客が訪れています。



2 人口・世帯数・面積

	徽 章	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (km ²)
宮 津 市		17,909	8,513	172.74
伊 根 町		2,095	918	61.95
与 謝 野 町		21,573	9,073	108.38
合 計		41,577	18,504	343.07

◇消防の沿革

— 組 合 発 足 前 —

年 代	で き ご と
昭和33年 5月 1日	宮津市消防本部を設置。消防長職務代理者 竹野秀夫（総務課長）就任 庶務・予防・整備の3係を置き、9名により業務開始
6月 1日	初代消防長 横田勝清 就任
昭和35年 6月 1日	消防吏員 2名採用
昭和37年 9月 1日	第2代消防長 竹野秀夫 就任
昭和39年 4月 1日	消防吏員 1名採用
9月17日	消防長 竹野秀夫 死亡退職
9月18日	消防長職務代理者 下野逸治 就任
10月16日	消防長事務取扱 安川一夫（助役）就任
昭和40年 4月 1日	宮津市消防署設置政令指定
〃	行政無線局を開局運用開始
8月 4日	消防署配置予定の消防ポンプ自動車 1台購入（宮津分団に配置）
昭和41年 9月10日	消防長事務取扱 上柳宏介（助役）就任
昭和42年 3月29日	消防ポンプ自動車（中古車） 1台購入
4月 1日	消防署発足 消防吏員13名採用 消防本部 6名 消防署14名 総員20名 1本部 1署の体制で仮庁舎（市役所）において業務開始 配置車両：消防ポンプ自動車 1台、無線指令車 1台、作業車 1台
6月14日	消防本部・署庁舎完成
10月26日	作業車を更新（指令車として消防本部に配置）
昭和43年 7月 1日	（財）日本損害保険協会から消防ポンプ自動車「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
7月 8日	（財）日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け消防署に配置、救急業務を開始
昭和44年 4月 1日	消防吏員 4名採用 総員24名 消防署消防隊を 2個分隊編成とする。
昭和45年 4月 1日	消防吏員 5名採用 総員29名
8月31日	消防吏員 1名退職
10月 1日	消防吏員 1名市長部局へ転出 総員27名
昭和46年 4月 1日	第3代消防長 柴田孝一 就任
〃	消防吏員 4名採用、1名市長部局へ転出 総員30名
昭和47年 3月31日	消防吏員 1名退職
4月 1日	市長部局から消防吏員 1名本部に復帰 総員30名
昭和48年 3月31日	消防吏員 1名退職
4月 1日	消防吏員 1名採用 総員30名
5月 1日	消防吏員 2名採用 総員32名
昭和50年11月24日	全国農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け消防署に配置
昭和51年 3月31日	消防吏員 1名退職
4月 1日	消防長事務取扱 上柳宏介 就任

年 代	で き ご と
昭和52年 2月 5日	消防吏員 1 名退職 総員30名
4月 1日	消防吏員 1 名採用 総員31名
10月29日	消防ポンプ自動車 1 台更新
昭和53年 4月 1日	消防吏員 2 名採用 総員33名
9月 1日	消防長職務代理者 小田原由雄 就任
昭和54年 4月 1日	消防本部及び消防署の機構の一部を改め、消防本部に庶務・予防・危険物・消防及び整備の 5 係、消防署に庶務・予防・危険物・消防第 1・消防第 2 及び整備の 6 係を置き、消防業務の改善を図る。
昭和55年 3月 6日	宮津市及び与謝郡 4 町（加悦町、岩滝町、伊根町及び野田川町）の広域消防常備化のため、宮津・与謝地方消防常備化推進委員会設置
4月 1日	消防常備化推進委員会事務局を宮津市消防本部内に置き、事務局職員 2 名を宮津市から出向配置
〃	消防組合発足に備え宮津市において消防吏員26名を採用 総員59名
4月 2日	与謝郡 4 町の消防常備化政令指定
8月 7日	消防常備化推進委員会において、消防組合設立のための基本計画承認
9月30日	消防ポンプ自動車 3 台、指令車 2 台購入
〃	(財) 日本消防協会から救急自動車及び指令車各 1 台の寄贈を受ける。
〃	消防組合への業務移管に伴い、宮津市消防吏員59名退職

— 宮 津 与 謝 消 防 組 合 —

年 代	で き ご と
昭和55年10月 1日	京都府知事の組合設立許可（京都府指令 5 地第1054号）により、宮津与謝消防組合発足 職員定数 65名 消防ポンプ自動車 2 台、救急自動車 2 台及び指令車 1 台宮津市から無償譲渡、加悦町から救急自動車 1 台を借用 消防車両を消防本部・署（宮津市消防本部（署）庁舎（宮津市無償出資））及び 2 分署に配置し、宮津市から移管された消防吏員59名及び関係市町派遣の職員 4 名、総員63名により業務を開始した。
〃	消防長職務代理者 小田原由雄 就任
11月30日	宮津与謝消防署加悦谷分署及び橋北分署完成
12月 4日	組合消防無線局認可され、周波数 4 波（市町村波、救急波、府県波及び全国波）により開局し、同日運用開始
12月23日	加悦谷分署及び橋北分署庁舎竣工式挙行政
昭和56年 1月31日	小型動力ポンプ 1 台購入（橋北分署へ配置）
3月16日	(財) 日本損害保険協会から救急自動車 1 台の寄贈を受け加悦谷分署へ配置
3月31日	加悦町から借用の救急自動車返納
〃	関係市町から派遣の職員 2 名（加悦町、野田川町各 1 名）帰任
4月 1日	宮津市から職員 1 名派遣 総員62名
昭和57年 4月 1日	職員定数 68名
〃	消防吏員 3 名採用 総員65名

年 代	で き ご と
昭和58年 3月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
4 月 1 日	消防吏員 2 名採用 総員66名
昭和59年 3月29日	(財) 日本損害保険協会から救急自動車 1 台の寄贈を受け本署救急自動車更新
3 月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
4 月 1 日	宮津市から職員 1 名派遣
10月 1 日	北但広域消防事務組合と消防相互応援協定を締結
昭和60年 3月31日	消防吏員 1 名退職
4 月 1 日	消防長職務代理者 富田 昭 就任
〃	消防吏員 1 名採用 総員66名
8 月22日	指令車 1 台購入 (本署指令車更新)
昭和61年 8月22日	(財) 日本消防協会から救急自動車 1 台の寄贈を受け本署救急自動車更新
10月24日	消防本部無線基地局無線機増設 (4 波実装)
11月21日	小型動力ポンプ 2 台購入 (本署及び加悦谷分署へ配置)
昭和62年 3月31日	消防吏員 1 名退職
4 月 1 日	初代消防長 富田 昭 就任
〃	消防吏員 2 名採用 総員67名
昭和63年 1 月17日	消防吏員 1 名退職 総員66名
3 月28日	丹後広域消防組合と消防相互応援協定を締結
3 月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
〃	消防吏員 2 名退職
4 月 1 日	第 2 代消防長 細野克己 就任
〃	宮津市から職員 2 名派遣
〃	消防吏員 3 名採用 総員68名
12月20日	消防本部・署庁舎増築完成
12月21日	化学消防自動車及び搬送自動車各 1 台購入 (本署へ配置)
平成元年 3月14日	(財) 日本損害保険協会から救急自動車 1 台の寄贈を受け橋北分署救急自動車更新
3 月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
〃	消防吏員 2 名退職
4 月 1 日	職員定数 69 名
〃	宮津市から職員 1 名派遣
〃	消防吏員 3 名採用 総員69名
12 月 1 日	京都府広域消防相互応援協定を締結
平成 2 年 3 月20日	救急自動車 1 台購入 (加悦谷分署救急自動車更新)
3 月29日	指令車 1 台購入 (本署指令車更新)
3 月31日	消防吏員 1 名退職
4 月 1 日	消防吏員 1 名採用 総員69名
平成 3 年 2 月28日	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入 (本署消防ポンプ自動車更新)
3 月 6 日	指令車 1 台購入 (加悦谷分署指令車更新)
3 月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任

年 代	で き ご と
4月1日	第3代消防長 小倉穎二 就任
〃	宮津市から職員1名派遣
7月17日	北京都信用金庫から救急自動車1台の寄贈を受け本署救急自動車更新
9月19日	(財)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け加悦谷分署消防ポンプ自動車更新
平成4年3月31日	消防庁舎建設用地及び広域避難用地(須津地内)購入
〃	消防ポンプ自動車1台購入(橋北分署消防ポンプ自動車更新)
〃	宮津市から派遣の職員2名帰任
〃	消防吏員1名退職
4月1日	第4代消防長 橋野伊久男 就任
〃	宮津市から職員1名派遣
〃	消防吏員2名採用 総員69名
平成5年3月12日	指令車1台購入(橋北分署指令車更新)
3月19日	消防ポンプ自動車1台購入(本署消防ポンプ自動車更新)
3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任
〃	消防吏員1名退職
4月1日	職員定数 70名
〃	宮津市から職員1名派遣
〃	消防吏員2名採用 総員70名
平成6年3月31日	消防吏員2名退職
4月1日	職員定数 88名
〃	京都府立消防学校へ消防吏員1名教官派遣
〃	消防吏員7名採用 総員75名
4月25日	救急救命士国家試験1名合格
平成7年1月18日	阪神・淡路大震災に伴い神戸市へ応援出場(8日間延べ34名)
3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任
4月1日	宮津市から職員1名派遣
〃	消防吏員4名採用 総員79名
4月25日	救急救命士国家試験1名合格(計2名)
8月1日	訓練塔(須津地内新消防庁舎建設予定地)起工
8月11日	新消防庁舎 消防本部・署(須津地内)起工
9月12日	防火広報車1台購入(本署へ配置)
12月1日	北但広域消防事務組合消防本部と消防相互応援協定を締結
平成8年3月15日	指令車1台購入(本署指令車更新)
3月29日	訓練塔(須津地内新消防庁舎建設予定地)完成
3月31日	京都府立消防学校へ教官として派遣の消防吏員1名帰任
4月1日	消防吏員3名採用 総員82名
4月27日	救急救命士国家試験1名合格(計3名)
7月31日	新消防庁舎 消防本部・署(須津地内)完成
8月22日	消防緊急通信指令施設設置工事(新消防庁舎)着工
10月1日	宮津与謝消防組合消防職員委員会設置

年 代	で き ご と
平成9年3月26日	指令車1台購入（本署に配置）
3月27日	高規格救急車1台購入（新庁舎に配置）
3月31日	消防緊急通信指令施設設置工事（新消防庁舎）完成
〃	宮津市から派遣の職員1名帰任
〃	消防吏員1名退職
4月1日	第5代消防長 落合通孝 就任
〃	宮津市から職員1名派遣
〃	宮津市へ消防吏員1名派遣
〃	消防吏員3名採用 総員84名
〃	消防本部・署、新消防庁舎に移転 消防ポンプ自動車、化学消防自動車、高規格救急車各1台、指令車2台、搬送車、防火広報車、予備救急自動車各1台及び消防長以下37名にて業務を開始した。 消防署の機構の一部を改め、2課5係を置く。 旧消防本部・署庁舎を宮津分署として開設、1消防本部1消防署3分署となる。
4月23日	救急救命士国家試験1名合格（計4名）
4月30日	新消防庁舎竣工式
8月26日	（財）日本宝くじ協会から消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」の寄贈を受け本署へ配置
11月10日	救助工作車（クレーン3t、照明灯付）1台購入（本署へ配置）
11月20日	平成9年度近畿2府7県合同防災訓練（北部会場）実施
12月17日	除雪機1台購入（本署へ配置）
平成10年3月1日	携帯電話119番通報に係る京都府下「代表消防本部間の管轄外通報の転送等に関する協定」を締結
3月16日	丹後広域消防組合と携帯電話119番通報に係る「管轄外通報の転送等に関する協定」を締結
3月25日	北但消防本部及びあさご消防本部と「携帯電話等からの緊急通報の府県間伝達に関する覚書」を締結
4月1日	消防吏員2名採用 総員85名
〃	携帯電話等からの119番通報に伴う代表受信運用開始
4月17日	救急救命士国家試験1名合格（計5名）
7月29日	救急自動車1台購入（橋北分署救急自動車更新）
10月26日	消防吏員1名退職
平成11年3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任
〃	消防吏員1名退職
4月1日	第6代消防長 柴田 徹 就任
〃	宮津市から職員2名派遣
〃	消防吏員2名採用 総員86名
4月14日	救急救命士国家試験1名合格（計6名）
平成12年2月7日	消防庁長官の救急隊員資格認定を受け救急救命士増員（計7名）

年 代	で き ご と
3月31日	救急自動車1台購入（加悦谷分署救急自動車更新）
〃	宮津市から派遣の職員1名帰任
〃	宮津市へ派遣の消防吏員1名帰任
4月1日	宮津市から職員1名派遣
〃	宮津市へ消防吏員1名派遣
5月22日	救急救命士国家試験1名合格（計8名）
7月1日	宮津分署救急自動車を高規格救急自動車に更新し、救急救命士による運用開始
平成13年3月8日	小型動力ポンプ（B-2級）1台購入（橋北分署小型動力ポンプ更新）
3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任
4月1日	宮津市から職員1名派遣
4月10日	救急救命士国家試験1名合格（計9名）
5月29日	第3次宮津与謝消防組合基本計画策定
6月1日	京都北都信用金庫から蘇生法教育人体モデル5セット寄贈
9月30日	消防吏員1名退職（救急救命士有資格者1名 計8名）
平成14年3月31日	消防吏員2名退職
4月1日	消防吏員3名採用 総員86名
4月17日	救急救命士国家試験1名合格（計9名）
平成15年1月18日	消防吏員1名死亡退職
2月20日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入（宮津分署水槽付消防ポンプ自動車更新）
3月25日	指令車1台購入（本署指令車更新）
3月31日	宮津市から派遣の職員2名帰任
4月1日	第7代消防長 井上正一 就任
〃	宮津市から職員1名派遣
〃	消防吏員4名採用（救急救命士有資格者1名 計10名） 総員88名
4月18日	救急救命士国家試験1名合格（計11名）
9月12日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入（加悦谷分署水槽付消防ポンプ自動車更新）
平成16年3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任
4月1日	宮津市から職員1名派遣
4月19日	救急救命士国家試験1名合格（計12名）
12月25日	I P電話による119番通報接続開始
平成17年3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任
〃	宮津市へ派遣の消防吏員1名帰任
〃	消防吏員1名退職
4月1日	第8代消防長 小西 徹 就任
〃	宮津市へ消防吏員1名派遣
〃	宮津市から職員1名派遣
〃	救急救命士資格取得の新規採用者が救急救命士として運用開始（計12名）
4月20日	救急救命士国家試験1名合格（計13名）
平成18年3月1日	与謝野町（加悦町、岩滝町、野田川町合併）発足
3月28日	消防ポンプ自動車1台購入（橋北分署消防ポンプ自動車更新）
3月30日	A E D全救急車配備
3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任

年 代	で き ご と
3月31日	消防吏員 2 名退職
4月 1 日	宮津市から職員 1 名派遣
〃	消防吏員 1 名採用 総員86名
4月19日	救急救命士国家試験 1 名合格 (計14名)
平成19年 3月23日	高規格救急自動車 1 台購入 (本署高規格救急自動車更新)
3月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
〃	宮津市へ派遣の消防吏員 1 名帰任
〃	防火ズボン・防火靴更新
4月 1 日	宮津市から職員 1 名派遣
〃	宮津市へ消防吏員 1 名派遣
〃	消防吏員 1 名採用 総員87名
4月20日	救急救命士国家試験 2 名合格 (計16名)
9月28日	防火衣更新
平成20年 1月28日	指令車 (災害救援車) 1 台購入 (加悦谷分署指令車更新)
3月31日	防火帽更新
〃	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
〃	消防吏員 2 名退職
4月 1 日	宮津市から職員 1 名派遣
〃	消防吏員 3 名採用 総員88名
平成21年 2月 1 日	両丹都市消防相互応援協定を締結
2月25日	通信指令システム更新
3月25日	広報車 1 台購入 (本署査察広報車更新)
3月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
〃	消防吏員 3 名退職
4月 1 日	宮津市から職員 1 名派遣
〃	京都府立消防学校へ消防吏員 1 名教官派遣
〃	消防吏員 4 名採用 総員88名
4月 9 日	消防吏員 1 名死亡退職
4月14日	救急救命士国家試験 1 名合格 (計17名)
6月 1 日	消防吏員 1 名採用 (救急救命士有資格者 1 名 計18名) 総員88名
12月14日	(財) 日本損害保険協会から高規格救急自動車 1 台の寄贈を受け加悦谷分署に配置 (救急自動車〈2 B〉更新)
平成22年 2月15日	高規格救急自動車 1 台購入 (橋北分署救急自動車〈2 B〉更新)
3月18日	多目的資機材搬送車 1 台購入 (本署搬送車更新)
3月31日	宮津市から派遣の職員 1 名帰任
〃	宮津市へ派遣の消防吏員 1 名帰任
〃	消防吏員 5 名退職
4月 1 日	宮津市から職員 1 名派遣
〃	宮津市へ消防吏員 1 名派遣
〃	消防吏員 5 名採用 総員88名
4月13日	救急救命士国家試験 1 名合格 (計19名)

年 代	で き ご と
12月21日	キャブ機能付きCD-I型消防ポンプ自動車1台購入（本署消防ポンプ自動車更新）
平成23年 1月12日	宮津、加悦谷、橋北3分署耐震診断実施
1月17日	第4次宮津与謝消防組合基本計画策定
3月11日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊として救急隊1隊を宮城県南三陸町へ派遣（平成23年4月2日までの23日間、隊員延べ25名を派遣）
3月31日	宮津市から派遣の職員1名帰任
〃	京都府立消防学校へ教官として派遣の消防吏員1名帰任
〃	消防吏員5名退職
4月1日	第9代消防長 三宅孝幸 就任
〃	職員定数 97名
〃	宮津市から職員1名派遣
〃	消防吏員4名採用 総員88名
4月10日	救急救命士国家試験1名合格（計20名）
6月30日	消防吏員1名退職
7月15日	小型動力ポンプ1台購入（本署小型動力ポンプ更新）
7月30日	本部事務車1台購入
9月15日	消防吏員1名死亡退職
12月15日	指令車1台購入（橋北分署指令車更新）
12月27日	住民（匿名）からAED5台の寄贈を受け消防ポンプ自動車等に配備
平成24年 2月3日	高規格救急自動車1台購入（宮津分署高規格救急自動車更新）
2月29日	加悦谷、橋北2分署耐震補強工事実施
3月31日	宮津市へ派遣の消防吏員1名帰任
〃	消防吏員2名退職
4月1日	宮津市へ消防吏員1名派遣
〃	消防吏員6名採用 総員90名
4月5日	救急救命士国家試験2名合格（計22名）
11月1日	キャブ機能付きCD-I型消防ポンプ自動車1台購入（加悦谷分署へ配置）
〃	加悦谷分署CD-II型水槽付消防ポンプ自動車を本署化学車として運用開始（本署化学車廃車）
11月9日	指令車1台購入（加悦谷分署へ配置）
〃	加悦谷分署指令車を本署指令車として運用開始（本署指令2号車廃車）
平成25年 3月31日	宮津市から派遣の職員2名帰任
4月1日	宮津市から職員1名派遣
〃	消防吏員3名採用 総員92名
4月2日	救急救命士国家試験1名合格（計23名）
8月30日	防災拠点施設完成
10月1日	防災拠点施設供用開始
〃	北部医療センター救急ワークステーション試行運用開始
12月19日	指令車1台購入（宮津分署指令車更新）
平成26年 3月4日	救助工作車（II型）1台購入（本署救助工作車更新）

年 代	で き ご と
3月31日	消防吏員 2名退職
4月 1 日	消防吏員 3名採用（救急救命士有資格者 2名 計25名） 総員93名
〃	北部医療センター救急ワークステーション運用開始
4月11日	救急救命士国家試験 1名合格（計26名）
8月19日	小型動力ポンプ 1台購入（橋北分署小型動力ポンプ更新）
11月27日	訓練指導車 1台購入（本署訓練指導車更新）
平成27年 3月23日	消防救急デジタル無線整備完了
3月30日	消防救急デジタル無線運用開始
3月31日	宮津市へ派遣の消防吏員 1名帰任
〃	消防吏員 2名退職
4月 1 日	第10代消防長 結城真弥 就任
〃	宮津市へ消防吏員 1名派遣
〃	消防吏員 3名採用 総員94名
4月17日	救急救命士国家試験 1名合格（計27名）
平成28年 2月15日	高機能消防指令センター仮運用開始
3月 2 日	高規格救急自動車 1台購入（本署高規格救急自動車更新）
3月31日	消防吏員 3名退職
4月 1 日	消防吏員 4名採用 総員95名
〃	高機能消防指令センター正式運用開始
4月16日	平成28年熊本地震に伴い緊急消防援助隊として救急隊 1隊を熊本県へ派遣 （平成28年 4月22日までの 7日間、隊員延べ20名を派遣）
4月18日	救急救命士国家試験 1名合格（計28名）
8月20日	宮津分署・宮津市防災拠点施設改築工事着工
10月21日	防火指導車 1台購入（本署へ配置）
12月31日	消防吏員 1名退職
平成29年 3月31日	消防吏員 3名退職（救急救命士有資格者 2名 計26名）
4月 1 日	消防吏員 3名採用（救急救命士有資格者 2名 計28名） 総員94名
4月17日	救急救命士国家試験 1名合格（計29名）
6月 5 日	宮津分署・宮津市防災拠点施設第 1期工事完成（事務所棟完成）
6月15日	宮津分署新庁舎で業務開始（車庫を除く。）
7月 1 日	旧宮津分署庁舎解体工事着工
平成30年 3月30日	宮津分署・宮津市防災拠点施設完成（車庫棟完成）
3月31日	消防吏員 6名退職（救急救命士有資格者 1名 計28名）
4月 1 日	宮津市から職員 1名派遣
〃	消防吏員 6名採用（救急救命士有資格者 1名 計29名） 総員95名
〃	宮津分署・宮津市防災拠点施設運用開始
4月25日	宮津分署・宮津市防災拠点施設竣工式
6月27日	京都府消防救助選抜会はしご登はんの部第 1位 全国救助大会出場権獲得
7月30日	平成30年 7月豪雨に伴い緊急消防援助隊として消防隊 1隊を広島県へ派遣 （平成30年 8月 1日までの 3日間、隊員 4名を派遣）

年 代	で き ご と
10月16日	京都府中・北部の6消防本部で、消防指令センターの共同運用及びその他消防連携について検討するため、京都府中・北部地域の新たな消防広域連携のあり方検討会設置
12月31日	消防吏員1名退職
平成31年2月27日	化学消防ポンプ自動車（I型）1台購入（本署水槽付消防ポンプ自動車〈化学車運用〉更新）
3月31日	宮津市へ派遣の消防吏員1名帰任
〃	消防吏員5名退職（救急救命士有資格者1名 計28名）

◇消防組合役職者名簿

○管理者・副管理者

職 名	氏 名	備 考
管 理 者	城 崎 雅 文	宮津市長
副 管 理 者	山 添 藤 真	与謝野町長
	吉 本 秀 樹	伊根町長

○監査委員

職 名	氏 名	備 考
監 査 委 員	稲 岡 修	識見選任
	宮 崎 有 平	議会選任

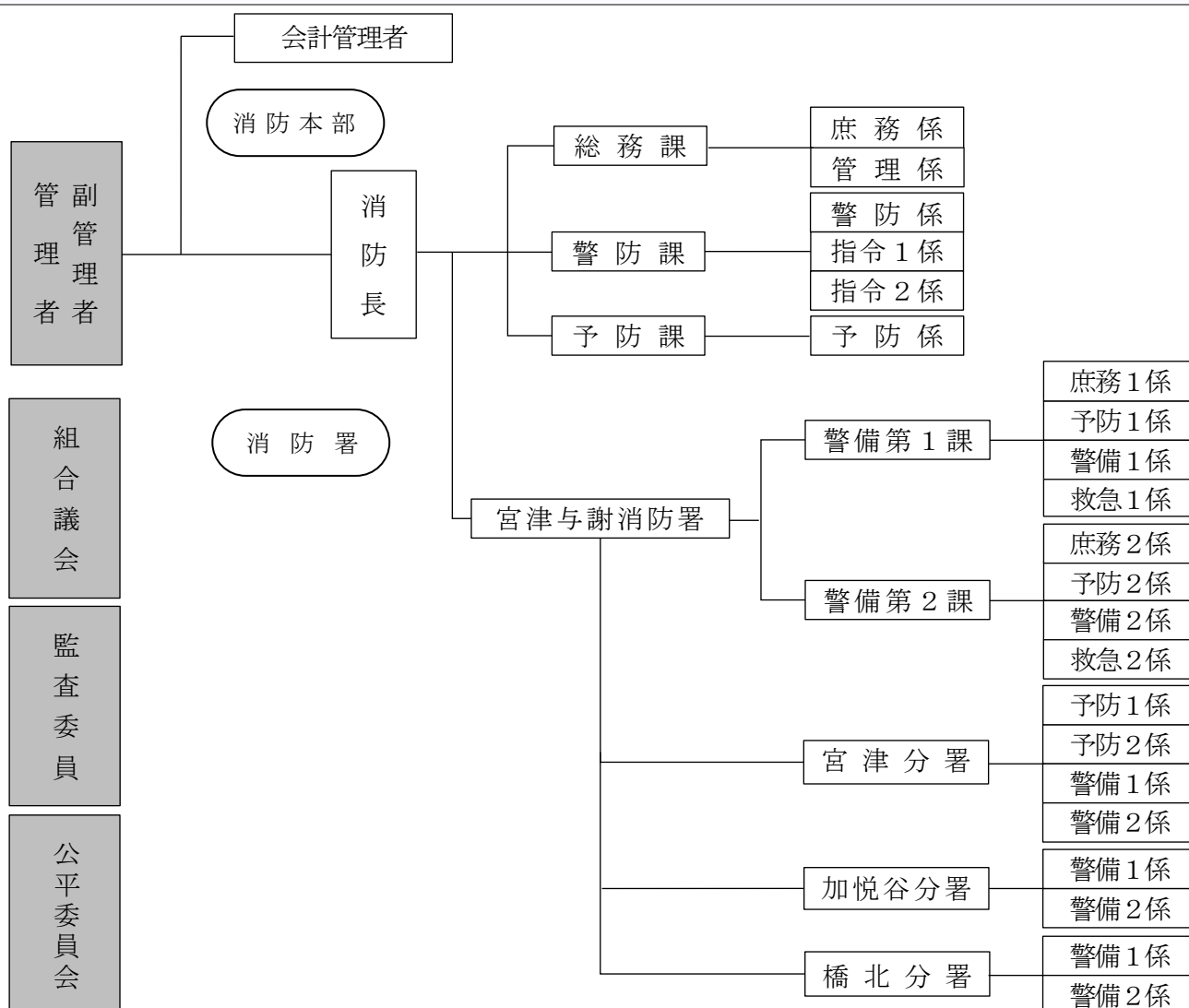
○公平委員会委員

職 名	氏 名	備 考
公 平 委 員 会 委 員	小 谷 淳 一	委員長
	植 田 宗 一	
	藤 原 清 隆	

○組合議会議員

議席番号	氏 名	選出市町	備 考
1	杉 上 忠 義	与謝野町	
2	山 崎 政 史	与謝野町	
3	宮 崎 有 平	与謝野町	
4	安 達 種 雄	与謝野町	
5	久 保 浩	宮津市	
6	向 山 禎 彦	宮津市	
7	小 濃 孝 之	宮津市	
8	家 城 功	与謝野町	副議長
9	上 辻 亨	伊根町	
10	松 山 義 宗	伊根町	
11	松 浦 登 美 義	宮津市	
12	河 原 末 彦	宮津市	
13	徳 本 良 孝	宮津市	議 長

◇消防組合機構図



◇消防庁舎の概要

宮津与謝消防組合消防本部・宮津与謝消防署

京都府宮津市字須津413番地の26

TEL 0772-46-6119 (代)

FAX 0772-46-6120

構 造	鉄筋コンクリート造 3階建
延べ床面積	消防本部・署 1,376.10㎡
	防災拠点施設 287.45㎡



防災拠点施設

消防本部・署

宮津与謝消防署 宮津分署

京都府宮津市字魚屋913番地

TEL 0772-46-1191

FAX 0772-46-1192

構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
延べ床面積	796.94㎡
	(宮津分署 444.99㎡) (宮津市防災拠点施設 351.95㎡)



宮津分署

宮津与謝消防署 加悦谷分署

京都府与謝郡与謝野町字算所418番地

TEL 0772-46-1195

FAX 0772-46-1196

構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
延べ床面積	338.78㎡



加悦谷分署

宮津与謝消防署 橋北分署

京都府与謝郡伊根町字日出576番地

TEL 0772-46-1197

FAX 0772-46-1198

構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
延べ床面積	336.48㎡



橋北分署

◇消防本部の分掌事務

担当課・係		内 容
総 務 課	庶 務 係	(1) 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。 (2) 組合議会に関する事。 (3) 公印の管守に関する事。 (4) 文書の収受及び発送に関する事。 (5) 職員の任免、分限、懲戒及び表彰に関する事。 (6) 職員の給与その他勤務条件に関する事。 (7) 市町村職員共済組合に関する事。 (8) 職員の研修及び教養に関する事。 (9) 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。 (10) 公務災害補償に関する事。 (11) 補助金の事務処理に関する事。 (12) 庁舎の管理統括に関する事。 (13) 市町との連絡調整に関する事。 (14) その他他の課及び係に属さない事。
	管 理 係	(1) 組合財産の維持管理に関する事。 (2) 会計経理に関する事。 (3) 決算の調製に関する事。 (4) 予算執行の調整に関する事。 (5) 組合財政に関する事。 (6) 起債に関する事。 (7) 職員の給貸与品に関する事。 (8) 物品の購入、調達に関する事。 (9) 工事の施行に関する事。 (10) 備品台帳の整備に関する事。 (11) 監査委員に関する事。
警 防 課	警 防 係	(1) 災害の整備計画に関する事。 (2) 救助、救急業務の管理に関する事。 (3) 消防統計に関する事。 (4) 医療機関との連絡調整に関する事。 (5) 消防訓練の計画に関する事。 (6) 消防相互応援協定に関する事。 (7) 消防施設の整備計画に関する事。 (8) 職員の非常招集計画に関する事。 (9) 開発行為に係る防災指導に関する事。 (10) 消防組織法（昭和22年法律第226号）に基づく消防計画に関する事。（構成市町の地域防災計画の調整に関する事を含む。） (11) 京都縦貫自動車道の防災等の協議に関する事。 (12) 丹後メディカルコントロール協議会に関する事。 (13) 火災調査における関係機関等との調整に関する事。 (14) その他警防に関する事。 (15) 課の庶務に関する事。

警 防 課	指令1係 指令2係	(1) 災害通報の受付及び出場指令に関すること。 (2) 消防通信及び災害情報の収集に関すること。 (3) 災害現場の指揮支援活動に関すること。 (4) 災害時等の関係機関への連絡調整に関すること。 (5) 消防通信指令施設の管理及び運用に関すること。 (6) 職員の非常招集に関すること。 (7) 気象情報の受信連絡及び処理に関すること。 (8) 電子計算事務に関すること。
予 防 課	予 防 係	(1) 火災予防対策の企画調整に関すること。 (2) 防火管理に関する講習及び防火管理者等の指導等に関すること。 (3) 建築物の確認等の同意及び通知事務に関すること。 (4) 消防用設備等に関すること。 (5) 防火の運動及び火災予防広報の企画調整に関すること。 (6) 火災警戒及び注意報の発令に関すること。 (7) 地震に対する防災指導に関すること。 (8) 危険物及び指定可燃物の規則、許可及び認可事務に関すること。 (9) 圧縮アセチレンガス等及び火薬類の防火指導に関すること。 (10) 消防対象物等の違反処理に関すること。 (11) 文化財の火災予防対策に関すること。 (12) 防災規制事務に関すること。 (13) 危険物取扱者等の講習等に関すること。 (14) 住宅防火対策の推進に関すること。 (15) 消防対象物等の統計及び報告に関すること。 (16) 危険物流出等の事故原因調査における関係機関との調整に関すること。 (17) 災害時要援護者の防火指導に関すること。 (18) 防火クラブに関すること。 (19) 関係団体との調整に関すること。 (20) 公平委員会に関すること。 (21) 防災センターの管理、運用に関すること。 (22) 宮津与謝危険物安全協会の事務に関すること。 (23) 課の庶務に関すること。

◇消防署の分掌事務

担当課・係		内 容
警備第1課 警備第2課	庶務1係 庶務2係	(1) 文書の收受、発送及び保存に関する事。 (2) 署の予算に関する事。 (3) 署員の配置、服務及び規律並びに教養に関する事。 (4) 職員の勤務割に関する事。 (5) 署に属する庁舎及び備品等の管理に関する事。 (6) 物品の購入、修繕及び賃借に関する事。 (7) 安全運転管理に関する事。 (8) その他他の係に属さない事。
	予防1係 予防2係	(1) 火災予防対策及び防火啓蒙に関する事。 (2) 防火管理者等の指導等に関する事。 (3) 事業所の訓練指導に関する事。 (4) 防火の運動及び火災予防広報に関する事。 (5) 消防対象物等の査察に関する事。 (6) 消防対象物の違反処理に関する事。 (7) 地震等の災害に対する防災知識の普及及び啓蒙に関する事。 (8) 防災規制に関する事。 (9) 防火安全性に関する意見書の交付、調査に関する事。 (10) 防火対象物の定期点検報告及び防火基準適合表示に関する事。 (11) 災害時要援護者の防火指導に関する事。 (12) 防火クラブの育成指導に関する事。 (13) 建築物の確認等の同意に係る調査に関する事。 (14) 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。 (15) 危険物及び指定可燃物の規制に係る調査に関する事。 (16) 圧縮アセチレンガス等及び火薬類の防火指導に関する事。 (17) 危険物流出等の事故原因調査に関する事。 (18) 住宅防火対策の推進に関する事。 (19) 消防対象物等の統計に関する事。 (20) その他火災予防に関する事。
	警備1係 警備2係	(1) 火災その他災害の防ぎよ及び警戒に関する事。 (2) 火災の原因及び損害の調査に関する事。 (3) 火災等の災害報告に関する事。 (4) り災証明に関する事。 (5) 消防救助に関する事。 (6) 一般家庭の防火指導に関する事。 (7) 消防地水利に関する事。 (8) 職員及び団員等の訓練指導に関する事。 (9) 消防機械器具の管理及び運用に関する事。 (10) その他警防に関する事。

警備第1課 警備第2課	救急1係 救急2係	(1) 救急業務に関すること。 (2) 救急資器材の保守管理に関すること。 (3) 救急技術の指導及び訓練に関すること。 (4) 救急搬送医療機関との連絡、調整に関すること。 (5) 救急応急手当の普及啓発活動に関すること。 (6) その他救急に関すること。
----------------	--------------	--

◇分署の分掌事務

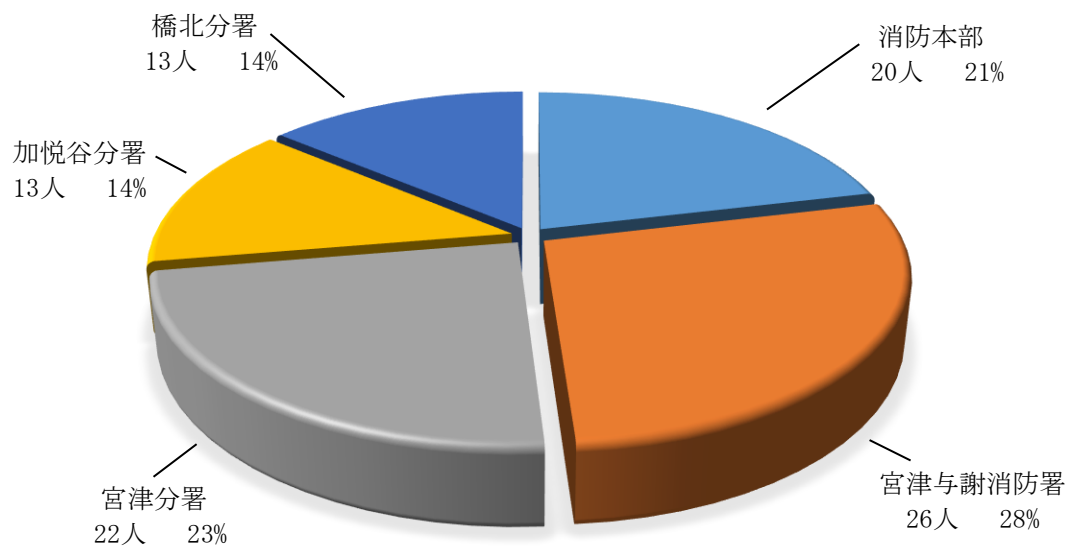
担当係		内 容
宮津分署	予防1係 予防2係	警備第1課予防1係に準ずる事務に関すること。
	警備1係 警備2係	(1) 分署の庶務に関すること。ただし、安全運転管理に関することを 含む。 (2) 警備第1課警備1係及び警備第1課救急1係に準ずる事務に関 すること。
加悦谷分署 橋北分署	警備1係 警備2係	宮津分署の予防1係及び警備1係に準ずる事務に関すること。

◇消防職員の所属・階級別配置

配置 \ 階級		合 計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	総務課	6		2	2	1			1
	総務課付	0 [1]			[1]				
	警防課	10 (1)		3	4 (1)	2	1		
	予防課	3 (1)		2	1		(1)		
小 計		20 (2)	1	7	7 (1)	3	1 (1)		1
消 防 署	署 長	1		1					
	宮津与謝消防署	25		4	7	1	3	10	
	宮津分署	22		2	7	2	5	6	
	加悦谷分署	13		2	3	2	3	3	
	橋北分署	13		2	3	2	1	5	
小 計		74		11	20	7	12	24	
合 計		94 (2)	1	18	27 (1)	10	13 (1)	24	1

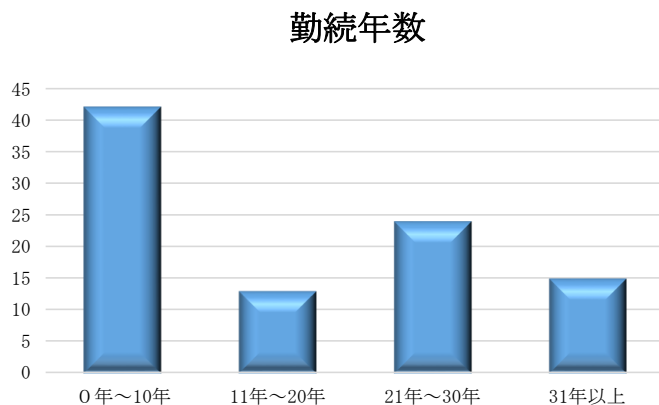
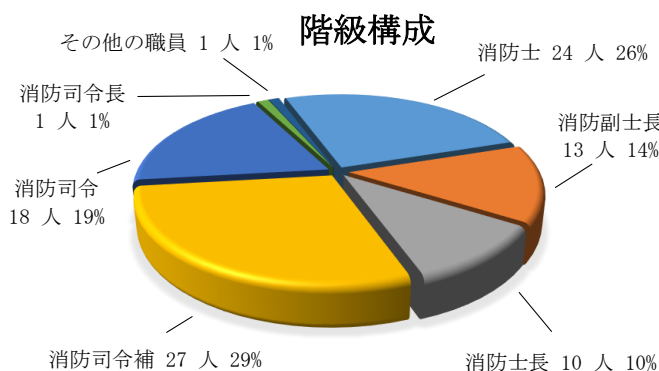
※[]内は宮津市派遣者数、()内は係を異にする兼務者を示す。

消防職員の配置状況



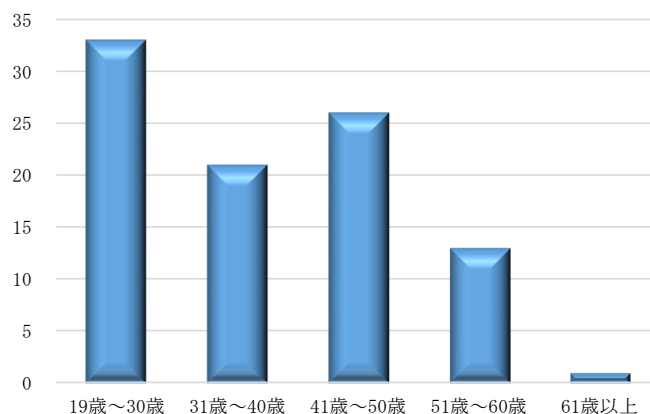
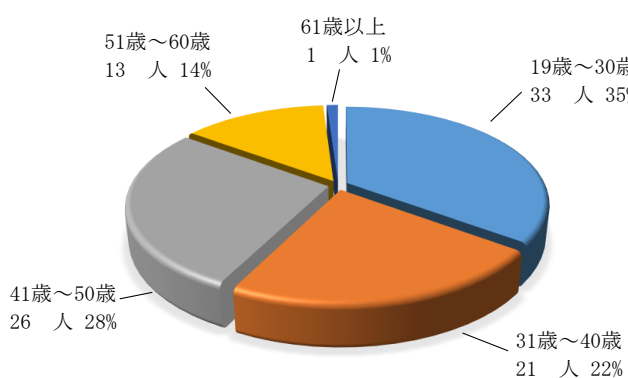
◇消防職員の勤続年数

年数 \ 階級	合 計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員
0 年 ～ 10 年	42		1		3	13	24	1
11 年 ～ 20 年	13			6	7			
21 年 ～ 30 年	24		4	20				
31 年 以 上	15	1	13	1				
合 計	94	1	18	27	10	13	24	1
平均勤続年数	16年7か月	41年0か月	31年5か月	23年7か月	11年11か月	8年0か月	3年7か月	6年0か月



◇消防職員の年齢構成

年齢 \ 階級	合 計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員
19 歳 ～ 30 歳	33					9	24	
31 歳 ～ 40 歳	21			7	10	4		
41 歳 ～ 50 歳	26		7	18				1
51 歳 ～ 60 歳	13	1	10	2				
61 歳 以 上	1		1					
合 計	94	1	18	27	10	13	24	1
平 均 年 齢	38歳6か月	59歳11か月	54歳7か月	44歳11か月	34歳2か月	29歳10か月	24歳6か月	49歳1か月



◇消防職員の職員教育研修

教育・研修科目		階級別	合計	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
消防大学校	幹部科		2				1	1	
	上級幹部科		1				1		
	警防科		1					1	
	救助科		2	1		1			
	予防科		1		1				
	救急科		1						1
京都府立 消防学校	初任教育		22	3	3	3	4	3	6
	警防科		6	1	1	1	1	1	1
	特殊災害科		4	1	1			1	1
	予防査察科		6	1	1	1	1	1	1
	危険物科		6	1	1	1	1	1	1
	火災調査科		6	1	1	1	1	1	1
	救急科		17	3	1	3	4	1	5
	救助科		19	4	3	3	4	3	2
	幹部科（初級）		4		1	1	1		1
	幹部科（中級）		3	1		1		1	
救急関係	就業前救命士病院研修		9	1	3	1	1	2	1
	現任救命士病院研修		124	19	20	22	21	20	22
	2項目拡大処置に係る追加講習		20		7	6	4	2	1
	気管挿管病院実習		6	1	1	1	1	1	1
予防技術検定	防火査察		17	6		3	4	4	
	消防用設備等		9	1		4	1	2	1
	危険物		7					3	4
資格取得	潜水士		6	1	1			2	2
	玉掛け技能講習		5	2		1		1	1
	小型移動式クレーン技能講習		5	2		1		1	1
	酸欠硫化水素危険作業主任者		3	2	1				
	第3級陸上特殊無線技士		4			2		2	
	主任無線従事者講習		6			2	2		2
合 計			322	52	47	59	53	55	56

◇平成30年度当初予算

◆ 歳 入

款	項	金額（千円）	構成比（％）
1 分担金及び負担金	1 分 担 金	871,722	97.13
2 使用料及び手数料	1 手 数 料	404	0.05
3 国庫支出金	1 国庫補助金	14,671	1.64
4 府支出金	1 府補助金	4,500	0.50
5 繰越金	1 繰越金	3,000	0.33
6 諸 収 入		1,611	0.18
	1 組合預金利子	5	0.01
	2 雑 入	1,606	0.17
7 消防組合債	1 消防組合債	1,600	0.17
歳 入 合 計		897,508	100.00

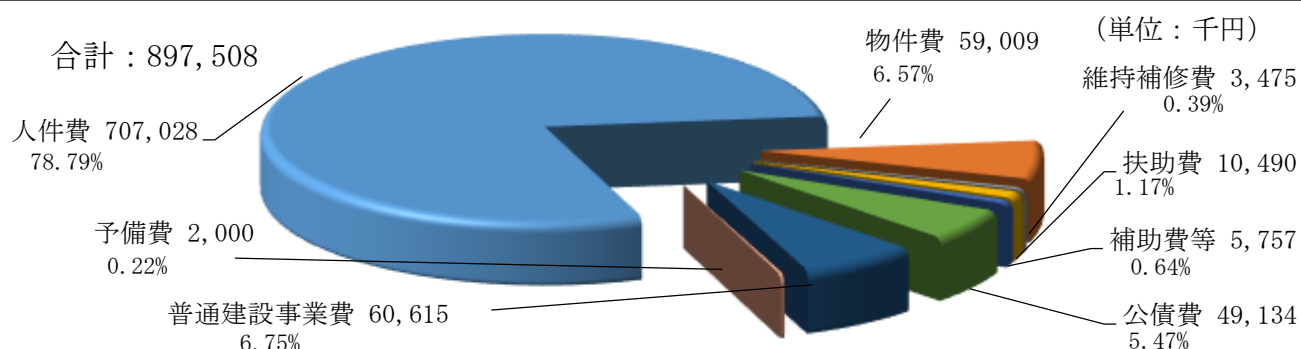
◆ 歳 出

款	項	金額（千円）	構成比（％）
1 議会費	1 議 会 費	220	0.03
2 総務費		9,775	1.09
	1 総務管理費	9,657	1.08
	2 監査委員費	118	0.01
3 消防費	1 消 防 費	836,379	93.19
4 公債費	1 公 債 費	49,134	5.47
5 予備費	1 予 備 費	2,000	0.22
歳 出 合 計		897,508	100.00

◇平成30年度構成市町分担金

市町名	宮津市	伊根町	与謝野町	合計
区分				
分担金（千円）	370,245	68,127	433,350	871,722
構成比（％）	42.47	7.82	49.71	100.00

◇平成30年度消防予算の性質別内訳



◇防火対象物の現況及び査察実施状況

※棟単位の延べ面積150㎡以上（17項は全て）

市町別 用途別			合 計		宮津市		伊根町		与謝野町	
			防火 対象 物数	査 察 実 施 数	防火 対象 物数	査 察 実 施 数	防火 対象 物数	査 察 実 施 数	防火 対象 物数	査 察 実 施 数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2 (1)	0	2 (1)					
	ロ	公会堂又は集会場	24 (0)	9	13	4	1	1	10	4
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	0 (0)	0						
	ロ	遊技場又はダンスホール	5 (1)	2	3 (1)	1			2	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等	0 (0)	0						
	ニ	カラオケボックス等の個室店舗	1 (0)	1					1	1
3	イ	待合、料理店等	6 (0)	0	4				2	
	ロ	飲食店	35 (0)	10	19	2	4	4	12	4
4		百貨店、マーケットその他の店舗等	73 (0)	26	36	7	2	2	35	17
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	89 (7)	54	72 (6)	39	6	6	11 (1)	9
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	190 (20)	2	102 (15)	1	1	1	87 (5)	
6	イ (1)~(4)	病院、診療所又は助産所	23 (2)	6	12 (1)	3	2	2	9 (1)	1
	ロ (1)~(5)	老人短期入所施設等	18 (1)	12	11 (1)	7	1	1	6	4
	ハ (1)~(5)	老人デイサービスセンター等	49 (0)	28	19	4	5	5	25	19
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	16 (1)	2	4				12 (1)	2
7		小学校・中学校・高等学校等	88 (12)	15	46 (5)	2	6 (2)	6	36 (5)	7
8		図書館、博物館、美術館等	8 (0)	3	3		1	1	4	2
9	イ	公衆浴場（蒸気浴場、熱気浴場等）	0 (0)	0						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1 (0)	0	1					
10		車両の停車場等	3 (1)	0	3 (1)					
11		神社、寺院、教会等	85 (1)	37	46	23	7	5	32 (1)	9
12	イ	工場又は作業場	247 (5)	44	79 (4)	5	10	10	158 (1)	29
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	0 (0)	0						
13	イ	自動車車庫又は駐車場	23 (1)	1	17 (1)	1			6	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0 (0)	0						
14		倉庫	112 (2)	18	69 (2)	4	11	11	32	3
15		前各項に該当しない事業場	324 (25)	35	177 (18)	6	27	13	120 (7)	16
16	イ	複合用途防火対象物のうち特定防火 対象物の用途に供されているもの	161 (5)	56	97 (4)	25	11	10	53 (1)	21
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	79 (3)	6	45 (1)	2	3	3	31 (2)	1
17		重要文化財等	33 (1)	26	20 (1)	19	2	2	11	5
合 計			1,695 (89)	393	900 (62)	155	100 (2)	83	695 (25)	155
査察実施率			23.19%		17.22%		83.00%		22.30%	

※火災発生時に人命危険の高い防火対象物（全体の約30%）を優先的に査察する計画を策定し実施している。

※（ ）内は、高さ15m以上の中高層防火対象物数

◇消防用設備等設置状況

用途別 設備別		消火設備					警報設備					避難設備		消防用水等		
		屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	ガス漏れ火災警報設備	漏電火災警報器	消防機関へ通報する設備	非常警報設備	避難器具	誘導灯・誘導標識	消防用水	連結送水管	非常コンセント設備
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1					1				1		1			
	ロ 公会堂又は集会場	1					17		1		7	2	20			
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等															
	ロ 遊技場又はダンスホール	1		1			4				3	1	5			
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ カラオケボックス等の個室店舗						1						1			
3	イ 待合、料理店等						3		1		1	1	6			
	ロ 飲食店	2					11		1		5	10	30			
4	百貨店、マーケットその他の店舗等	4					43		1	1	8		57			
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	21	1				130	1	18	32	13	26	92	1	1	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	3					32				8	18	9		10	9
6	イ 病院、診療所又は助産所	1	1	1			12			1	5	3	19		1	
	ロ 老人短期入所施設等	1	18				18			17	1	2	18			
	ハ 老人デイサービスセンター等	1	2				35		2	4	2	3	36			
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	1					16					2	12			
7	小学校・中学校・高等学校等	37					67		1		9	13	7			
8	図書館、博物館、美術館等	1					4			1	2		5			
9	イ 公衆浴場（蒸気浴場、熱気浴場等）															
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場										1		2			
10	車両の停車場等						2									
11	神社、寺院、教会等						4		3	2	15					
12	イ 工場又は作業場	19		2	3	2	78		1		1	1	10	2		
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ															
13	イ 自動車車庫又は駐車場			2			3						1			
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14	倉庫	3					22					1	8			
15	前各項に該当しない事業場	9		1			59		2	1	33	4	38			
16	イ 複合用途防火対象物のうち特定防火対象物の用途に供されているもの	7	8				87		4	10	18	14	101		1	
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	1		2			12				4	1	5			
17	重要文化財等						27		1	1	1					
合 計		114	30	9	3	2	688	1	36	70	138	102	483	3	13	9

◇建築確認同意・消防通知・計画通知件数

工事種別 項目	合 計	新 築	増 築	改 築	移 転	計 画 変 更	用 途 変 更	大修繕 規・模 様 な替
建築確認同意	33	26	5				2	
消防通知	70	63	7					
計画通知	1		1					
合 計	104	89	13	0	0	0	2	0

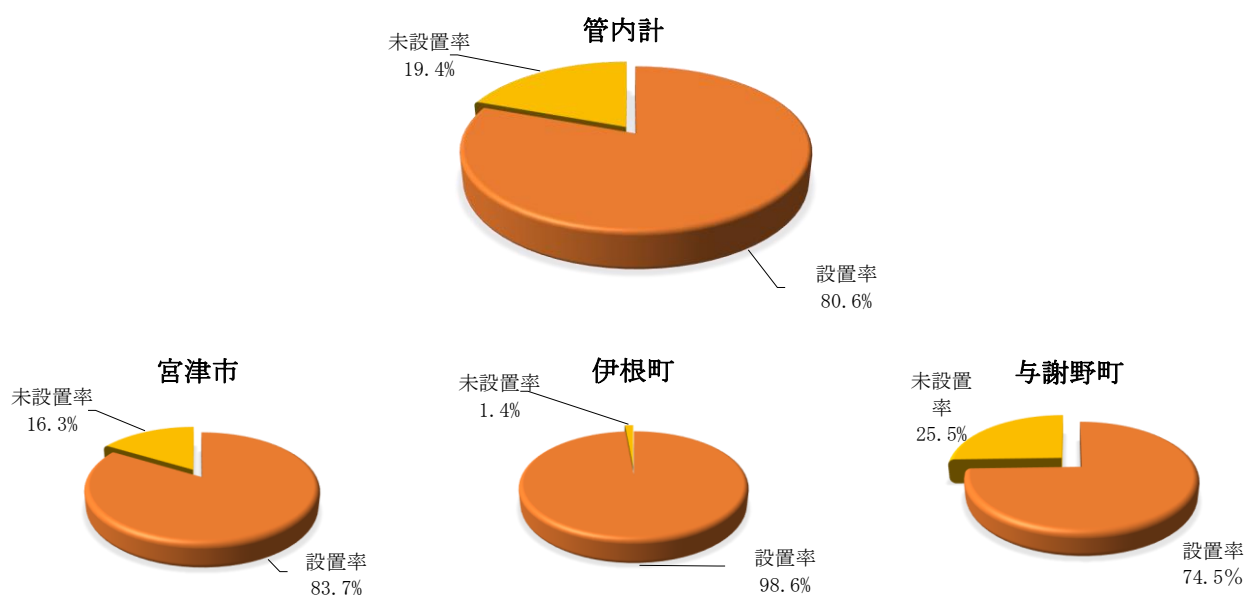
◇各種届出状況

項目別	市町別	合 計	宮津市	伊根町	与謝野町
防火・防災管理者選任（解任）届出書		122	62	6	54
消防計画作成（変更）届出書		141	70	7	64
訓練実施計画書		429	196	33	200
防火対象物・防災管理点検結果報告書		43	24	7	12
消防用設備等点検結果報告書		556	263	48	245
工事整備対象設備等着工届出書		68	44	8	16
消防用設備等設置届出書		193	112	20	61
防火対象物使用（変更）届出書・棟別概要		70	45	8	17
ボイラー・給湯湯沸設備等設置届出書		12	8	1	3
変電・発電・蓄電池設備設置届出書		22	15	3	4
火災とまぎらわしい届出書		633	254	43	336
煙火打上げ・仕掛け届出書		17	6	2	9
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出書		11	7		4
催物開催届出書		0			
水道減水・断水届出書		2	2		
露店開設届出書		58	32	5	21
道路工事・占用届出書		161	76	17	68
少量危険物等貯蔵・取扱（変更）届出書		13	9	4	
少量危険物等貯蔵・取扱廃止届出書		9	6	1	2
合 計		2,560	1,231	213	1,116

◇月別防火指導及び広報活動状況

項目別 \ 月別	合 計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
消防訓練指導	71 回	3	8	8	5	2	1	8	19	1	4	3	9
露店指導	14 回		1	2		4		2	2			3	
防火講話	30 回	1			7	6	2	1	1	1		2	9
起震車体験実習	5 回								1	1	1		2
危険物輸送車両街頭検査	5 回			4					1				
公共輸送バス検査指導	3 回											3	
園児等を対象とした防火教室開催	23 施設								23				
広報誌等による防火啓発	15 回	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	2	1
横断幕・立看板 懸垂幕等による防火啓発	48 回	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
車両による防火広報	107 回	26	12		3	22		2	13	4		1	24
一人暮らし高齢者家庭の防火訪問	544 世帯					9		89	136	117	121	72	

◇住宅用火災警報器設置状況



調査戸数	管内計	宮津市	伊根町	与謝野町
	16,164	8,202	979	6,983

※調査戸数については、平成21年度からの累計値で、訪問調査により住警器の設置の有無を確認した家屋等を計上しています。

◇危険物施設の現況及び査察実施状況

市町別 施設別		合 計		宮津市		伊根町		与謝野町	
		施 設 数	査 察 実 施 数	施 設 数	査 察 実 施 数	施 設 数	査 察 実 施 数	施 設 数	査 察 実 施 数
製 造 所		0	0						
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	24	17	14	9	1	1	9	7
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	30	10	24	8	1	1	5	1
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	1	1				
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	58	21	34	12	4	3	20	6
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1			1	1		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	24	22	17	15			7	7
	屋 外 貯 蔵 所	0	0						
取扱所	給 油 取 扱 所	58	45	32	22	7	7	19	16
	販 売 取 扱 所	1	1	1	1				
	一 般 取 扱 所	34	8	26	6			8	2
合 計		231	126	149	74	14	13	68	39
査察実施率		54.55%		49.66%		92.86%		57.35%	

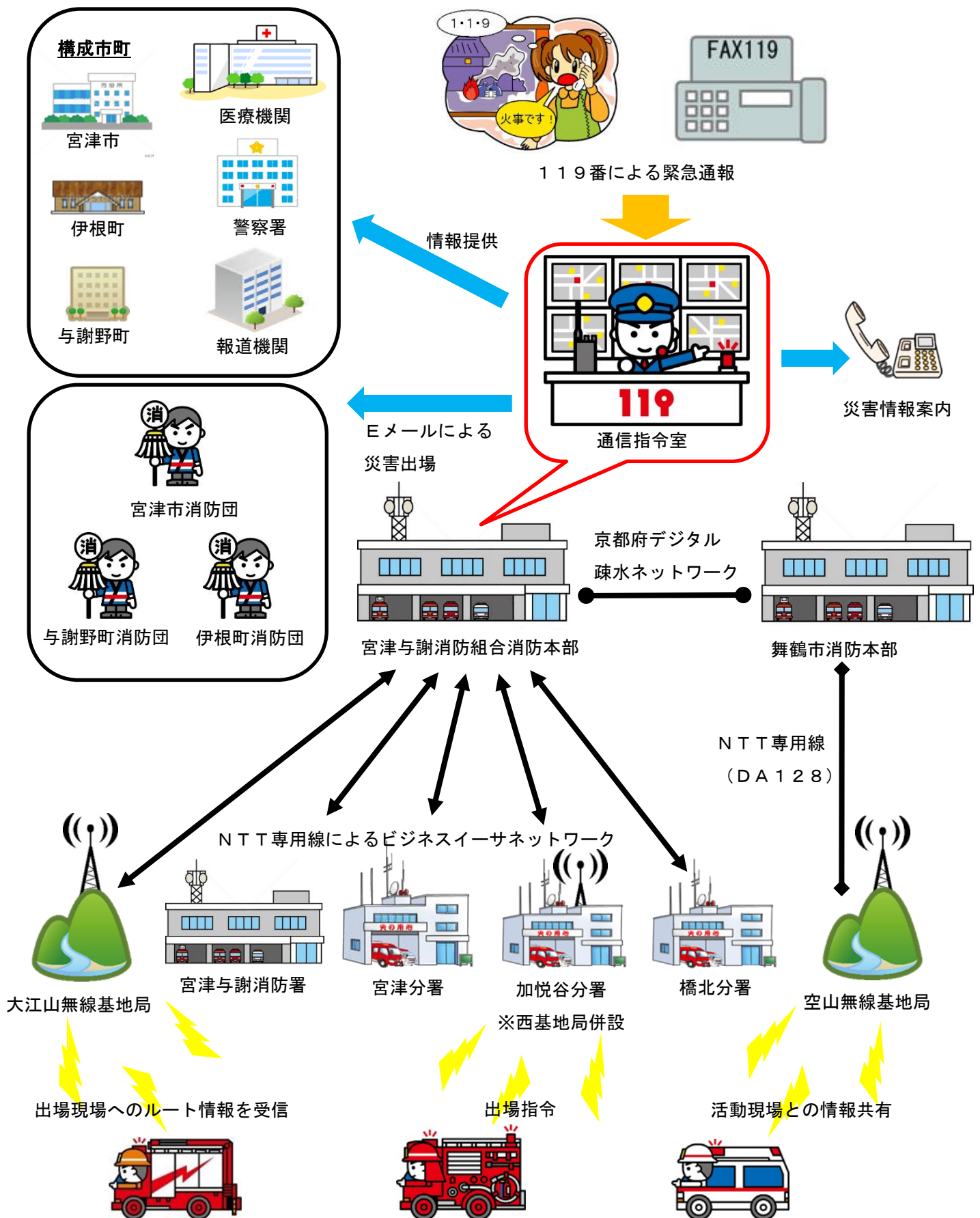
◇倍数別危険物施設の数

施設別 指定数量の倍数別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
5 倍以下	97		20	4	1	28	1	24		9	1	9
5 倍を超え 1 0 倍以下	31		2	5		12				3		9
1 0 倍を超え 5 0 倍以下	53		2	13		17				10		11
5 0 倍を超え 1 0 0 倍以下	21			2		1				16		2
1 0 0 倍を超え 1 5 0 倍以下	11									10		1
1 5 0 倍を超え 2 0 0 倍以下	6									6		
2 0 0 倍を超え 1 0 0 0 倍以下	5			1						4		
1 0 0 0 倍を超える	7			5								2
合 計	231	0	24	30	1	58	1	24	0	58	1	34

◇危険物施設等各種申請・届出状況

施設別 項目別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			そ の 他
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
仮貯蔵・仮取扱承認申請	0												
製造所等設置許可申請	1						1						
製造所等変更許可申請	16		2					1		9		4	
製造所等仮使用承認申請	12		2							8		2	
製造所等完成検査申請	16		2				1	1		8		4	
完成検査済証再交付申請	0												
製造所等完成検査前検査申請 (少量タンク検査含む)	0												
予防規程認可申請	2			1								1	
譲渡引渡届	4					2		1				1	
品名、数量又は指定数量の 倍数変更届	3		2			1							
製造所等廃止届	6			1		4						1	
保安監督者選解任届	16		3	4			1			6		2	
所有者等の住所・氏名・名称 変更届	18			5		9				2		2	
使用休止・再開届	4					3				1			
軽微な変更届	31		2	3						25		1	
工事施工届	1											1	
取扱者配置届	46		6	5		7	1	3		17		7	
合 計	176	0	19	19	0	26	4	6	0	76	0	26	0

◇消防通信指令系統図



◇消防車両の現況

所 属	呼出名称	車 両	メーカー	年 式
消 防 本 部 宮 津 与 謝 消 防 署	みやしょう 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	平成 22 年
	みやしょう 2	救 助 工 作 車 (Ⅱ 型)	日 野	平成 26 年
	みやしょう 3	化学消防ポンプ自動車	日 野	平成 31 年
	みやしょう 1 1	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	平成 28 年
	みやしょう 1 2	非常用高規格救急自動車	ニ ッ サ ン	平成 19 年
	みやしょう 2 1	指令 1 号車 (指揮車)	ト ヨ タ	平成 15 年
	みやしょう 2 2	指 令 2 号 車	ニ ッ サ ン	平成 20 年
	みやしょう 2 3	資 機 材 搬 送 車	三 菱	平成 22 年
		査 察 広 報 車	三 菱	平成 21 年
		消火・通報訓練指導車	ニ ッ サ ン	平成 26 年
		防 火 指 導 車	ト ヨ タ	平成 28 年
		事 務 連 絡 車	ホ ン ダ	平成 23 年
		小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	平成 23 年
宮 津 分 署	みやしょうひがし 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	平成 15 年
	みやしょうひがし 1 1	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	平成 24 年
	みやしょうひがし 2 1	指 令 車	ニ ッ サ ン	平成 25 年
		小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	平成 9 年
加 悦 谷 分 署	みやしょうにし 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	平成 24 年
	みやしょうにし 1 1	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	平成 21 年
	みやしょうにし 2 1	指 令 車	ト ヨ タ	平成 24 年
		小 型 動 力 ポ ン プ	ラ ビ ッ ト	平成 12 年
橋 北 分 署	みやしょうきた 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	平成 18 年
	みやしょうきた 1 1	高 規 格 救 急 自 動 車	ニ ッ サ ン	平成 22 年
	みやしょうきた 2 1	指 令 車	ト ヨ タ	平成 23 年
		小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	平成 26 年

◇機械器具等の保有状況

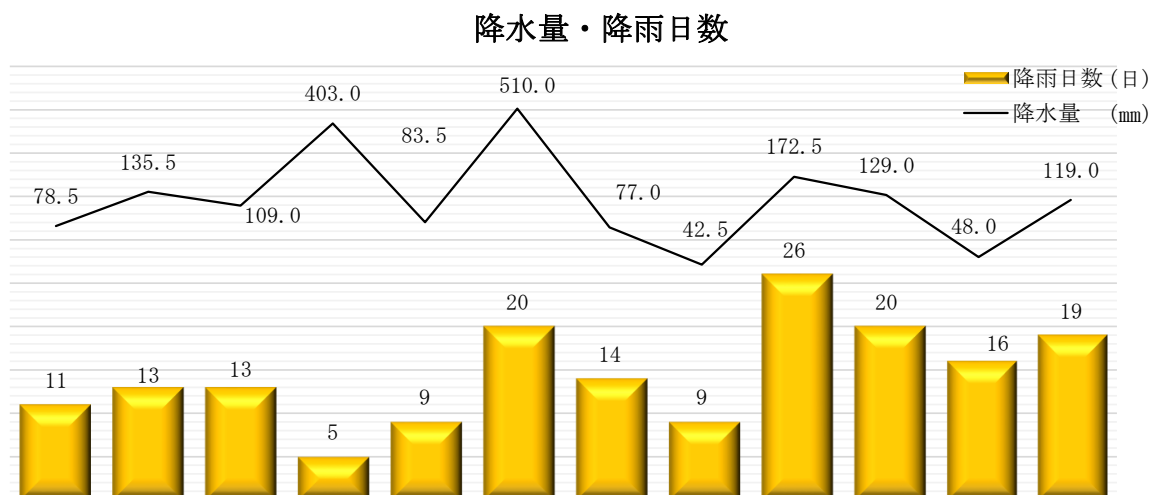
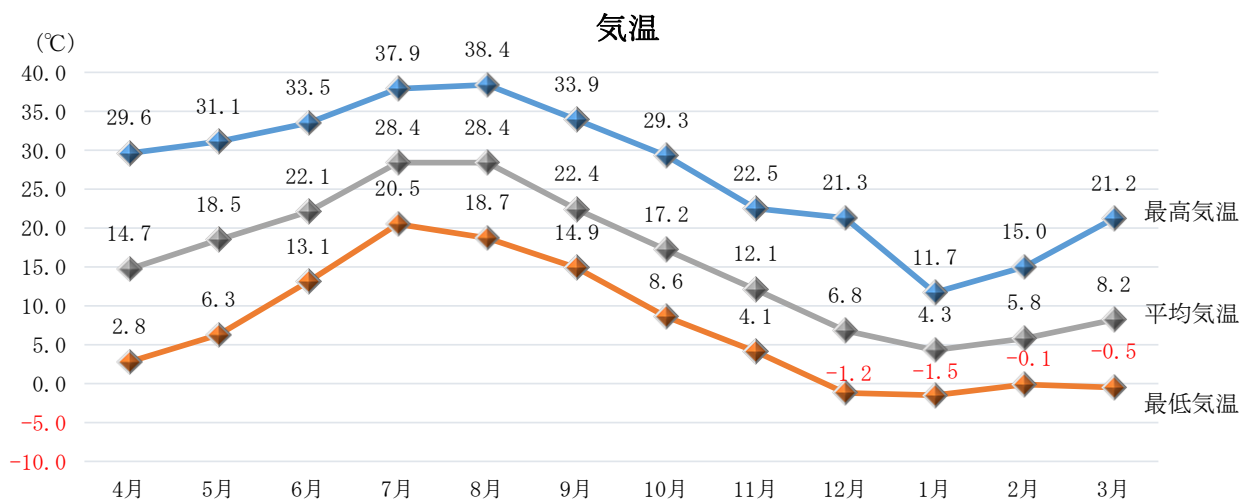
分類	品 名	数 量				
		合 計	宮 津 与 謝 消 防 署	宮 津 分 署	加 悦 谷 分 署	橋 北 分 署
一般救助器具	かぎ付はしご	9	3	2	2	2
	三連はしご	7	3	1	1	2
	ワイヤはしご	1	1			
	空気式救助マット	1	1			
	救命索発射銃	1	1			
	サバイバースリング等	4	3		1	
	平担架	3	2		1	
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ一式	2	1			1
	油圧ジャッキ	5	3			2
	大型油圧スプレッダー	1	1			
	油圧スプレッダー(マルチ含む)	4	1	1	1	1
	可搬ウインチ	7	3	1	1	2
	救助用支柱器具	2	2			
	ワイヤーロープ	4	2	1	0	1
	マンホール救助器具	1	1			
切断用器具	空気鋸	2	1			1
	大型油圧切断機	1	1			
	油圧切断機	1	1			
	空気切断機	2	1			1
	エンジンカッター	6	3	1	1	1
	ガス溶断機	1	1			
	チェーンソー	8	4	1	1	2
	鉄線カッター	4	1	1	1	1
破壊用器具	万能斧	14	6	3	3	2
	ハンマー	1	1			
	ハンマードリル	1	1			
	携帯用コンクリート破壊器具	4	2		1	1
	削岩機	2	2			
測定器	可燃性ガス測定器	7	4	1	1	1
	有毒ガス測定器	3	2			1
	酸素濃度測定器	3	2			1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	25	16	3	3	3
	酸素呼吸器	5	5			
	簡易呼吸器	2	2			
	送排風機	2	2			

分類	品 名	数 量				
		合 計	宮 津 与 謝 消 防 署	宮 津 分 署	加 悦 谷 分 署	橋 北 分 署
隊員保護用器具	耐電衣	2	2			
	耐電手袋	5	5			
	安全帯	21	10	3	5	3
	防塵めがね	5	5			
	携帯警報器	20	11	3	3	3
	陽圧式化学防護服	2	2			
	耐熱服	4	2	2		
水難救助用器具	潜水器具一式	5	5			
	救命胴衣	78	25	26	16	11
	救命浮環	10	7			3
	救命ボート	1	1			
	船外機	1	1			
	水中無線機	1	1			
その他の器具	救助用降下機	2	2			
	バスケット担架	7	4	1	1	1
	投光器一式	10	6	2	1	1
	携帯投光器	17	7	3	5	2
	携帯拡声器	14	4	3	4	3
	携帯無線機	16	7	3	3	3
	緩降機	1	1			
	発電機	12	6	2	1	3
	簡易画像探索機	1	1			
	熱画像直視装置	2	2			
救急資機材	電動吸引器一式	9	3	2	2	2
	自動体外式除細動器	15	7	2	3	3
	血糖測定器	4	1	1	1	1
	患者監視装置(レコーダー付)	5	2	1	1	1
	呼気二酸化炭素測定器具	4	1	1	1	1
	血中酸素飽和度測定器	2	1	1		
	バックボード	11	5	2	2	2
	スクープストレッチャー	10	5	1	2	2
	減圧・陰圧固定器具	5	2	1	1	1
	自動式人工呼吸器	10	4	2	2	2
	12誘導心電計	4	1	1	1	1

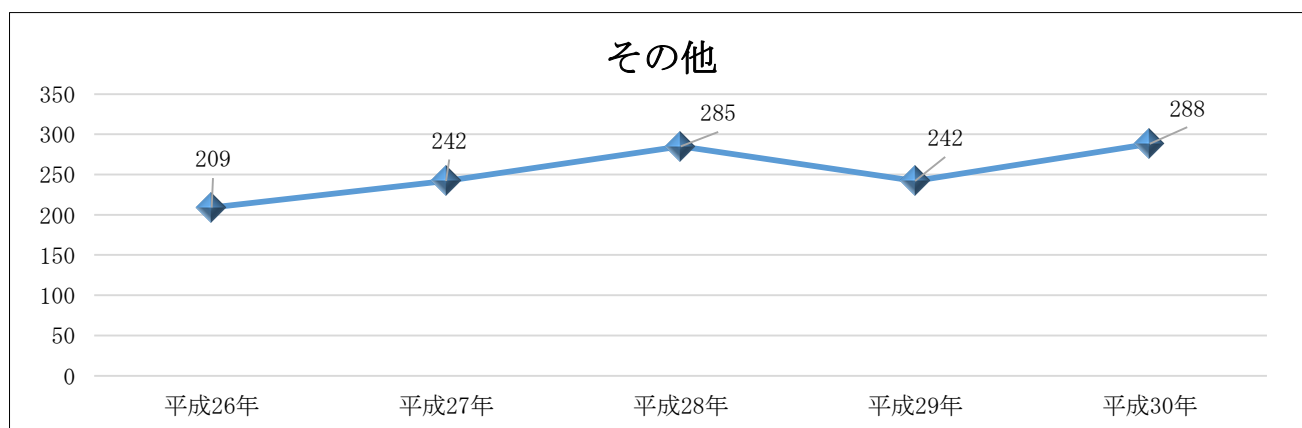
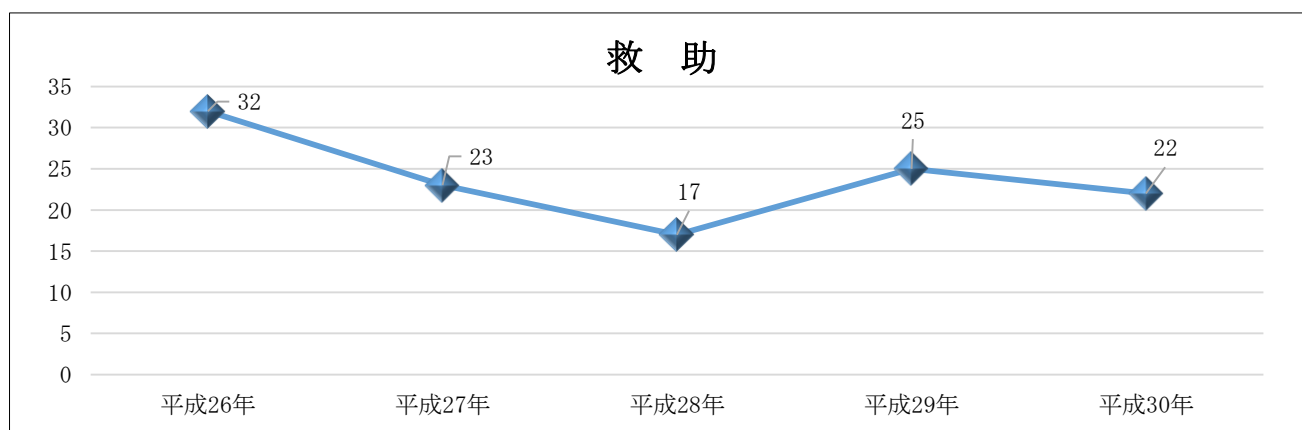
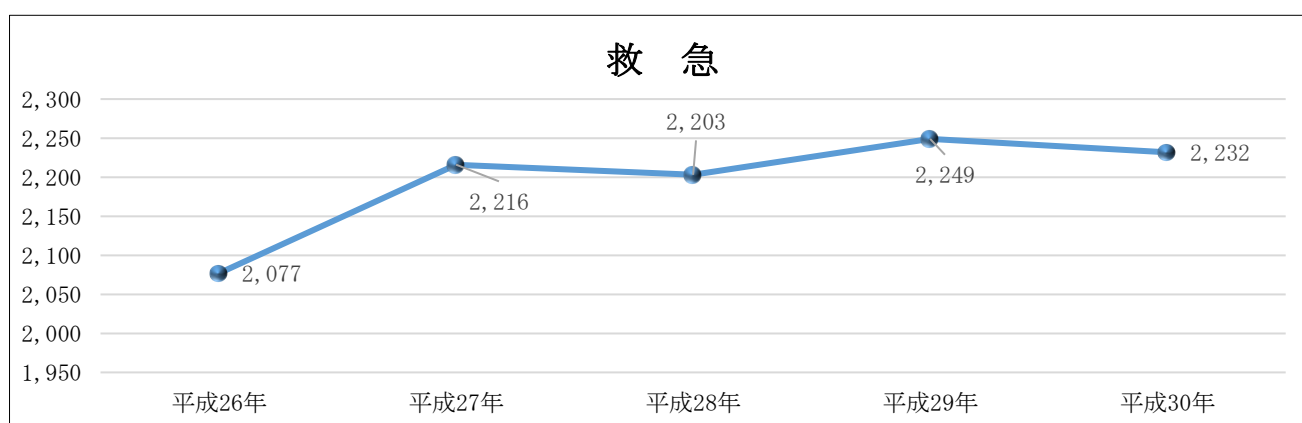
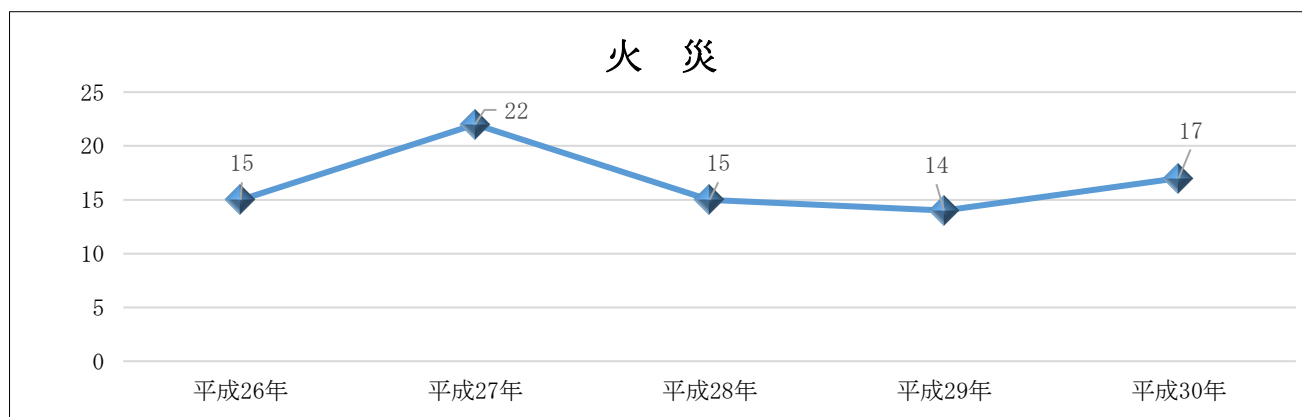
◇119番通報受信状況

	合計	火災	救急	救助	その他災害	問合せ	試験	間違い	その他
4月	252	3	128		26	18	4	5	68
5月	257	1	147		8	11	6	6	78
6月	252		121	1	8	15	6	2	99
7月	313		171	3	25	36	1	11	66
8月	301		181	3	16	39	9	7	46
9月	226		135	1	10	15	5	4	56
10月	284		149	1	14	20	5	9	86
11月	263		133	2	13	7	7	4	97
12月	311		182	3	17	11	5	10	83
1月	226	1	149		21	7	6	5	37
2月	210	2	135	2	9	10	12	6	34
3月	296	4	148	2	15	15	10	7	95
合計	3,191	11	1,779	18	182	204	76	76	845

◇気象状況

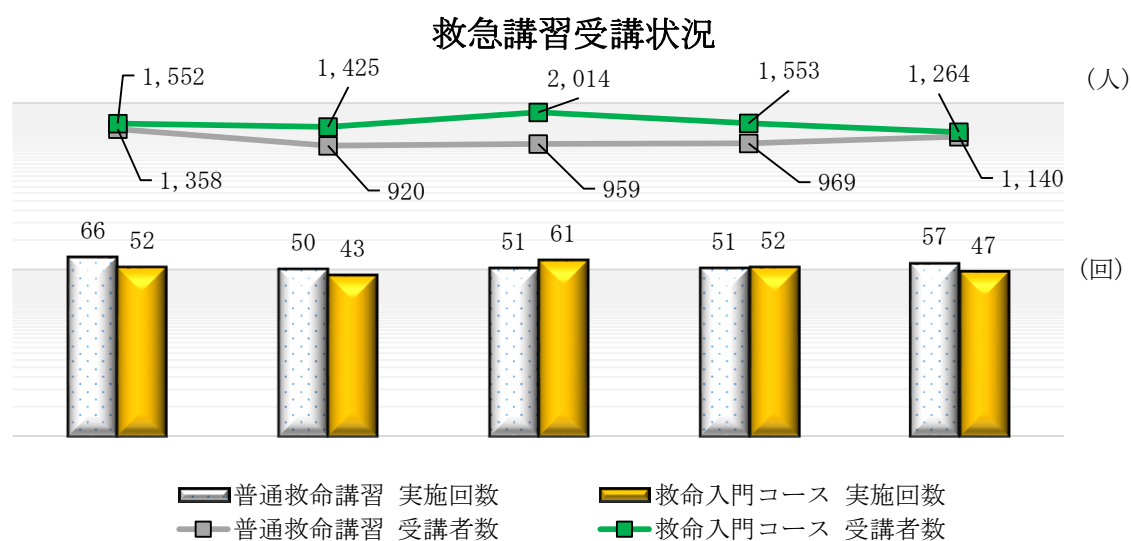


◇災害件数の推移（過去5年間）



◇救急講習受講状況

	合計		普通救命講習		救命入門コース	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
平成26年度	118	2,910	66	1,358	52	1,552
平成27年度	93	2,345	50	920	43	1,425
平成28年度	112	2,973	51	959	61	2,014
平成29年度	103	2,522	51	969	52	1,553
平成30年度	104	2,404	57	1,140	47	1,264



◇管内AED設置状況

	合 計	宮津市	伊根町	与謝野町
医療機関	17	5	2	10
福祉施設	30	13	4	13
スーパー、物品販売店等	2	1		1
宿泊施設、飲食店	19	15	2	2
公共施設	74	29	4	41
観光施設	22	8	3	11
小学校、中学校、高等学校等	29	11	4	14
幼稚園、保育園等	22	10	2	10
その他の事業所	31	17	3	11
合 計	246	109	24	113

※宮津与謝消防署調べ

平成 3 0 年度版

令和元年 8 月発行

宮津与謝消防組合消防本部

〒629-2251

京都府宮津市字須津 4 1 3 番地の 2 6

TEL 0772-46-6119(代)

FAX 0772-46-6120

E-mail soumu@miyayo119.jp

URL <http://www.miyayo119.jp>